

『ぱる・おかやま』

平成28年度

事業報告



地域活動支援センターぱる・おかやま平成 28年度方針

■ 地域とのつながりを作る

- ◇みんなで木曜市・日限の縁日に行く、出店する（手芸など）。
- ◇商店街の人をサークルの講師に呼ぶ。
まちゼミに参加してつながりを作る。
- ◇ぱる通信の取材に行く。

■ 交流スペースを仲間同士で支えあえる場に

- ◇今までクローバーが当番として居場所に入っていたが、クローバー・利用者関係なくお互いに話を聞き合い、支え合える場を目指す。クローバーも気兼ねなくゆっくり過ごし、交流できるような場に。
- ◇利用者の中ではぱるの場で何か役に立ちたいという方が出てきたら、やりたいこと・できることをお願いしていく。
- ◇スタッフはその為に必要な環境を整えたり、話を聞いていく。

■ ぱる通信の発行

- ◇年間計画を立て、より良いものにしていく。読み手の事を考えた記事作り。
。読みやすい、また読みたくなるような引き込まれる通信作りを目指す。

■ サロン活動について

- ・ ぱるカフェ（月1回）
- ・ ぱるランチ（月約1回）
(クリスマス会や牡丹鍋、花見などコラボしながら開催)
- ・ つどい（月1回） いやしば（月1回）
- ・ 女子会（月1回）
- ・ お抹茶教室（月1回）
- ・ お菓子作りサークル(月1回)
- ・ めがねっこサークル(月1回)
- ・ 卓球サークル・図書館サークル
- ・ カラオケサークル・ソフトボール
- ・ 手芸サークル(月約1回) ・ フットサル

お抹茶教室



お菓子づくりサークル



めがねっこ

11月からめがねっこ展を開催！
デッサン、散歩など皆でやりたいこと
決めて活動してます！



フットサル

月に1~2回のペースで行っている。
フットサルを通して外に出るきっかけが出来た
人や事業所を通り越した交流が出来ている。



まちゼミに参加

『私をいたわるお茶とお菓子の会』
秋（9月7日、21日、10月7日）

延計13名参加

春（3月22, 29日）

延11名参加

『陶芸』

60 私だけの絵皿を作ろう！

親子OK BABY同伴
連携講座 ナイトゼミ



「ろう抜き技法」という技法を使って絵皿を作ります。

3/11 土 13:30~15:30

■講師/芝 真路 ●対象/どなたでも ●定員/10名または10組
●持物/エプロン ●材料費/500円

社会福祉法人あすなろ福祉会
090-9066-3821

第6回 まちゼミ表町

machizeminar omotecho

36 私をいたわる
お茶とお菓子の会

親子OK BABY同伴
連携講座 ナイトゼミ



普段の生活で自分をいたわっていますか？この講座では自分でできる心のお手入れ方法をゆったり、ほっこり一緒に学んでいきます。

3/22 水 18:30~20:00 3/29 水 18:30~20:00

- 講師/畠木 奈津恵・徳田 裕子 ●対象/どなたでも ●定員/5名
- 持物/筆記用具 ●材料費/300円

社会福祉法人あすなろ福祉会

086-201-1720

岡山市北区表町3-7-27
受付/10:00~17:00
定休/日曜日、月曜日、祝日

地域活動支援センターぱる・おかやま平成 28年度方針とふりかえり

■ 地域とのつながりを作る

⇒ 法人として 町内のイベントに多数参加し、裏方のお手伝いをすることができた。（うらじゅ（踊り、裏方）、土曜夜市、街ゼミ、花火大会出店、紙屋町青年部に参加）

⇒ 紙屋町のフェイスブックやぱる通信にお店の取材をし掲載をした

29年度も今後も引き続き、地域とのつながりを積極的に
つくっていきたい。

- ・紙屋町定例会議へ参加：月1回
- ・うらじゅ 表町おきやく連に参加
- ・うらじゅの裏方、表町の運営サポートへ参加
家族会で出店も行う
- ・土曜夜市の準備と参加
- ・街ゼミに参加・あすなろでゼミを開催も！（商店
街の方を講師で呼ぶ）
⇒紙屋町の方との関係を引き続きよく、地域の方と
共に学び合える場をつくりたい

■交流スペースを仲間同士で支えあえる場に ふりかえり

⇒ぱるランチ・お菓子作りサークルは引き続き、皆でメニューや内容を考えながら実施！（クリスマス会や、牡丹鍋、花見とコレボしながら）失敗しても…今後も食を通して皆でつながっていきたい

⇒やりたいことを応援！

歌が歌いたい、編み物がしたい、など少しでも自身につながればと興味があることを応援！

⇒居場所については、クローバーが意識して居場所にいてくれていて、クローバー自身も居場所をよくしようといっている姿がみられる

クローバー×ぱるがコラボしてよい居場所に！

■ぱる通信の発行

◇年間計画を立て、より良いものにしていく。
読み手の事を考えた記事作り。読みやすい、また読みたくなるような引き込まれる通信作りを目指す

29年度は春号(4月)、夏号(8月)、秋号(11月)
、冬号(2月)予定

⇒それぞれの活動報告や紹介をHPやフェイスブックに掲載を行っていく

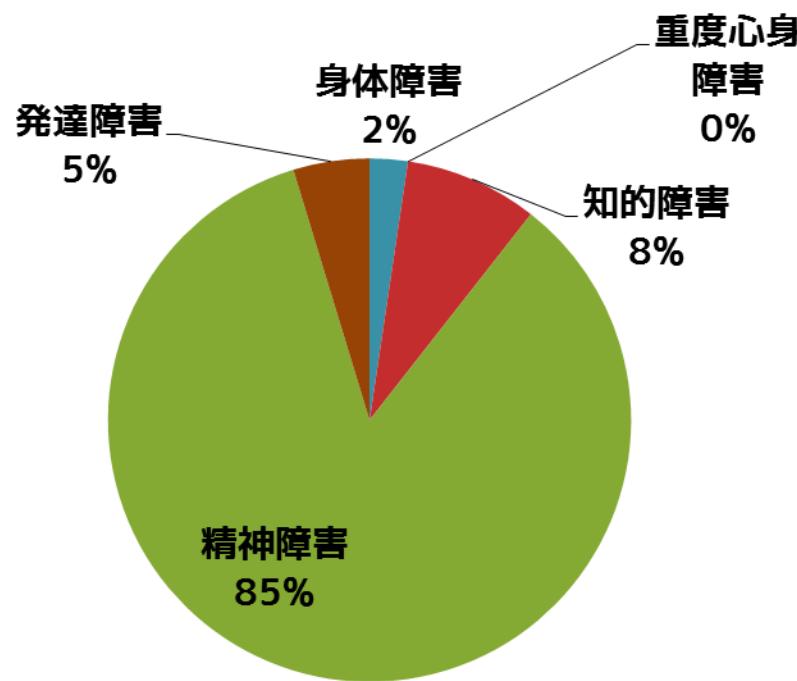
相談支援事業
平成28年度事業報告
平成29年度事業方針



相談支援事業

【相談支援を利用している障害者等の人数】

障害種別内訳

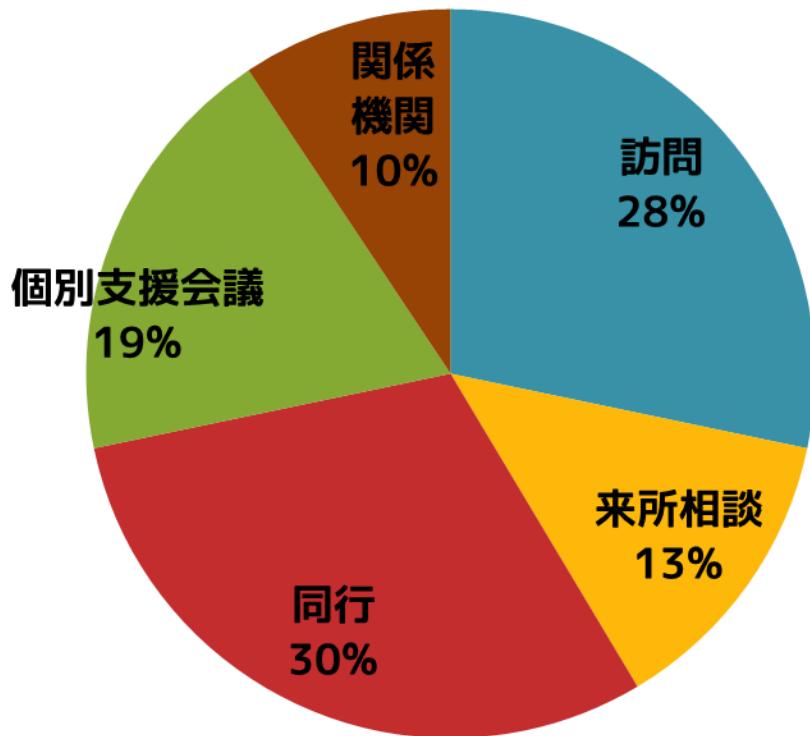


| 障害 | 人数 |
|--------|----|
| 身体 | 2 |
| 知的 | 7 |
| 精神 | 73 |
| 発達 | 4 |
| 重度心身障害 | 0 |
| その他 | 0 |
| 実人員 | 86 |

相談支援事業

支援方法

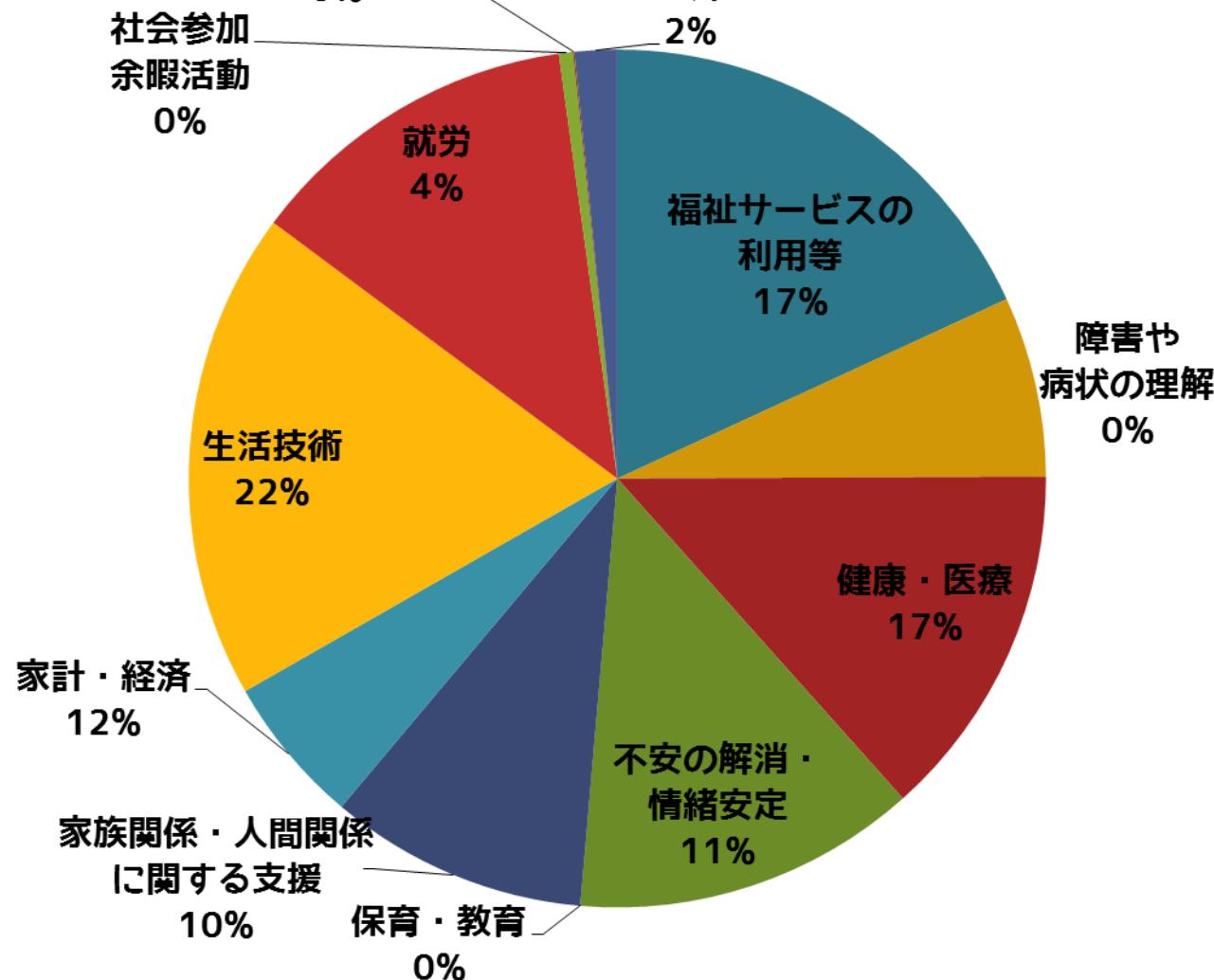
支援方法別内訳



相談支援事業

支援内容

支援内容別内訳





指定特定相談支援・指定一般相談支援

H29年3月31日現在

●計画相談支援登録者人数93名

【ぱるその他;74名 クローバー:1名 JOB: 7名 MOMO:10名 ものづくり:1名】

※平成26年度 79名 平成27年度62名

●地域定着支援登録者人数14名

～3名の相談支援専門員で対応～

新規の場合、初回支援計画後、2ヶ月後にモニタリング

←今年度からは、初回から6ヶ月毎にモニタリング

地域定着については、緊急時に訪問し対応。携帯電話を所持し、常時連絡がつくように体制を整えている。



指定特定相談支援・指定一般相談支援

【平成28年度の方針】

①相談支援専門員の質の確保と向上

- 地域部会において定期的に勉強会を行う（毎月第3木曜日）。
　　ぱるからは2事例提出検討。

事例検討の流れ：基本情報に関する質問、ストレングスに視点を置いた質問、アドバイス（責任を持たない）

3月11日 「精神障害のある方の支援について学ぶ」

　　講師 林 英樹 先生（林病院） 参加者15名

その他 聴覚障害者の理解を深める勉強会など

- 計画相談WGにて研修会開催（年4回）

【内容】

- ①サービス等利用計画の作成について
- ②サービス担当者会議の進め方と活用について
- ③モニタリングの実務とあり方について
- ④（支給決定手続きを円滑に行うために）サービス等利用計画の記入について

指定特定相談支援・指定一般相談支援

【平成28年度の方針】

②計画相談対象者拡大に向け、受け入れ体制を作る

利用者が希望するサービスをタイムリーに利用できるようにする為にも、相談支援専門員がフットワーク軽く動ける体制をとることが必要。（希望や困りごとの聞き取り訪問、事業所見学同行、その他手続き）その為に、事業所を本部に構え、相談支援専門員が専任で相談を受ける体制を作る。

【常勤スタッフ2名 非常勤スタッフ1名】



- ・ I型との役割を分けた事で動きやすくなり、漏れなくモニタリングに入る事ができるようになっている。
- ・ 他相談支援事業所につなげていく為に、地域部会での関係強化を行った。
- ・ 東部地域は相談支援事業所がなかなか増えないという課題がある。



指定特定相談支援・指定一般相談支援

③事業費について

モニタリング月が偏らないように調整する。→スタッフ同士で漏れがないようモニタリング月の確認を行う。

→計画相談は微増であるが、地域定着利用者が増えたことで、予定事業費を達成することができている。

④ケースについて

○社会資源（足りないサービスをどう工夫して作り出すか・・・）調査
・移動支援・夜間の電話相談 など

良いアイデアを見つけ、支援に活かしたい！

→移動支援については、事業所がご本人のニーズに動けるよう計画作成を行った。※通院乗降介助、通院等介助

訪問マッサージを受けたいという希望に対し、新規の事業所とつながりが持て、訪問リハとして導入することができた。



指定特定相談支援・指定一般相談支援

④計画相談で上がった個別のニーズを地域のニーズとして反映させる

- ・計画相談WGにて報告、改善を図り、地域部会等に返していく。

岡山市の計画相談支援の体制整備、質の向上の為に

- ・精神保健福祉部会発足。コアメンバーとして部会の企画をしていく。

検討課題

あすなろ福祉会内における新規計画相談者の受け入れについて

→対象者の人数が増えていき、受け入れが難しくなっている状況



指定特定相談支援・指定一般相談支援

【平成29年度の方針】

①相談支援専門員の質の確保と向上

- 地域部会において定期的に勉強会を行う（毎月第3木曜日）。
- 計画相談WGにて研修会開催（年4回）

②対象者については現状維持

モニタリングを確実に行い、一人一人のニーズをきちんと把握し、計画につなげていく。事業所収入においても現状維持を目標に。

③タイムリーに効果的に社会資源をつなげられるような支援を行う

その為には関係機関とのつながりを深めること、また情報収集に努める。

- ・共同住居
- ・保証人がいない、生活保護など物件探しに困る際の支援
- ・金銭管理に困っている人の為の支援
- ・DVや虐待を受けた方の支援

④精神保健福祉部会の活性化

平成29年度は障害福祉計画見直し、策定期。部会の意見をまとめて計画に反映させる。また、岡山市の取り組みや課題の整理を行い、地域包括ケアシステムの構築を目指す。